



平成23年6月5日発行

あゆみ保育園

園長 江郷 茂男

いよいよ梅雨本番の季節がやってまいりました。今年は、寒くなったり、暑くなったりで、気温の差が激しい春でしたね。その中でも、お天気の良い日は、思う存分お散歩や園庭での泥んこ遊びを楽しみました。じめじめしたお天気が続く梅雨到来となってしまいましたが、この時期しか出来ない遊びもたくさんあります。そして、梅雨の合間の良いお天気には、初夏ならではの遊びを楽しみたいと思っております。6月は、いろいろな虫たちが活動を始め、生き物たちのパラダイスです。小さいお子様たちは、同じように小さいものが大好き！今しか見られないものをたくさん発見し、感動を共感したいと思います。

また、気温の差が激しい時期でもあります。お子様たちの体調の管理には十分に気をつけ、健康的に過ごしていきたいと思えます。



☆ 今月の目標 ☆

- 梅雨期の衛生や感染症に気をつけ、元気に過ごす。
- 一人一人の発達に合わせて、遊ぶ場所、おもちゃ、遊具を設定し、それぞれがのびのびと遊べるようにする。

保育園生活にも少しずつ慣れてきたひよこさんのお友達……。最近では、朝、お母さんと離れるときも泣かなくなりつつありますね。

お部屋に入ると、おしごとの教具に夢中になって、触れたりなめたりしています。個々の生活リズムも安定し始め、睡眠、食事、遊びが充実してきました。

おしゃべりがとても上手ならんちゃんは歩くことが増え、自分の好きなところに自由に行って、夢中になって遊んでいます。

わんぱくでたくましいだいやくんは、「いただきます」「ごちそうさま」を覚え、一生懸命、身振りを真似して、大きな声を出しています。

お散歩が大好きなひろきくんは、はいはいがとても上手になり、テラスの入り口まで来て、「お散

歩行きたい！」と催促します。

お返事がとても上手なゆいなちゃんは、話しかけると、「うん！」とにっこり、嬉しそうに言って、答えてくれます。

毛布が大好きなりんくんは、好きなおもちゃ目指して、お座りから、腹ばいになり、ずり這いがとても上手になりました。

ひとり遊びがとても上手なりんくんは、つかまり立ちができるようになり、棚の上のおもちゃに手を伸ばして夢中になって遊んでいます。

哺乳瓶でミルクが飲めるようになったかたくんは、最近は、階段に興味を持って、はいはいで上手に登っています。

笑顔が素敵なしょうまくんは、高いところに登るのが大好き！時々、びっくりするようなところに素早く登ってしまい、驚かされます。

お座りができるようになったひろゆきくんは、ずり這いがとても上手になり、時々、お尻を高く持ち上げ、嬉しそうに、にっこり微笑んでいます。

日に日にいろいろなことができるようになるひよこさんたち。明日は何ができるようになるかしら？毎日がとっても楽しみです。



☆ 今月の目標 ☆

- 季節の変わり目を、元気に過ごす。
- 好きな遊びにじっくり取り組む。

園庭の八重桜の花びらも散り、暖かさを感じる季節となりました。

園庭でのどろんこ遊びも少しずつ慣れ、裸足になってとても気持ち良さそうです。

この間は、お部屋に入る前に汚れた体をシャワーで流し、お湯の溜まったタライに入り、手足で湯水の感触を楽しんでいました。

お散歩では、台車から降り、自分で歩く時間も増え、たまに転んでしまいますが、泣かずに立ち上がり、頼もしい姿も見られるようになってきました。幼児クラスのお友達も数名一緒にお散歩に行ってくれる時もあり、手をつないだり、側について歩いてくれたりします。お散歩中には歩きながら、♪犬のおまわりさん♪や、♪さんぽ♪を歌ったり、手遊びをしたりしてとっても賑やかです。

「あ～ひるさん！」と呼ぶと元気に「は～い！」とお返事もしてくれるようになりました。お部屋にもすっかり慣れ、お隣のぺんぎんさんのお部屋にお仕事に行くことが多くなってしまし

た。ぺんぎんさんのお部屋では見慣れない教具に興味津々で、お兄さん、お姉さんがやっているお仕事をじっと見て、ちょっと難しいお仕事に挑戦し、何回も繰り返してやっています。
これから蒸し暑くなってくるのでお子様の体調に気を付け、細めに水分補給をして過ごしていきたいと思います。

◆・◆・◆ さくらんぼのおへや ◆・◆・◆



☆ 今月の目標 ☆

- 室内・戸外遊びを楽しむ。
- 一日の生活の流れがわかり、安定して過ごす中で、いろいろなことに意欲的に取り組むようになる。

アジサイの花が、ひと雨ごとに鮮やかな色になってきました。げた箱にも、色とりどりの小さな長靴が並んでいます。雨の日も少しずつ多くなり、お子様達も長靴での登園を楽しみながらも外に出られない日は園庭を見つめ「雨降ってるねぇ・・・」としょんぼりな様子。ですが、雨の降った日でも活動を工夫しながらお子様達と楽しく過ごしております。先日、雨が降った日は室内で粘土をしたり、電車で少し遊んだあと、小雨になると白いカッパを着て遊歩道までお散歩に出かけました。お子様達も雨の日の外に出られる特別な感じにどこかワクワク♪遊歩道にはなめくじやカタツムリがゆっくり歩いていたたり、クモの巣に雨粒がついてキラキラ光っている様子を見ているお子様達です。また木の枝についた雫を揺らして落とし「雨だ～!!」と楽しむ姿も見られます。またお天気の日には小さなプールをだし、園庭で泥んこあそびを楽しんでいます。

鍋の中に泥を入れ、お友達や先生にご飯を作ってくれたり、またお子様同士でもお父さんやお母さんになり「ごっこ遊び」を楽しむ姿も見られます。こうした遊びを通し、お友達との関わり方を学んでいたり、イメージを膨らませ象徴機能が発達し、今まで以上に言葉を使ってやりとりをすることが増えてくるのです。お子様同士の関わりが増えていく一方で、まだ言葉でうまく伝えられない時期でもあるぺんぎんさん。言葉で伝えたい気持ちはあってもうまく伝えられずトラブルになってしまうこともあります。お子様達の気持ちを受け止め、お子様同士の関わりを大切にしながらも大きな怪我などにつながらない様、気をつけながらも見守っていきたいと思っています。

そして朝のおしごとにもとてもよく取り組んでいるぺんぎんさん。朝、登園をしてきてお部屋に入ると自分の大好きなおしごとへ向かいます。お子様は自分の気が済むまでおしごとに取り組みます。自分たちの納得いくところまで行った後のお子様の表情はなんとも言えない満足感で満たされ

ています。最近ではゴマをするおしごとが大人気で1回だけでなく、「ママとパパの分もやるの!!」と袋がいっぱいになるまで手を動かしゴマをすっています。手首を使うことによって、後に字を書く時に役立つのです。

今月もお子様の気持ちを大切に、一人ひとりの思いを受け止めながら、保育を行っていきたいと思っています。



- 持ち物全てに**名前の記入**をお願いいたします。自分で着脱ができるようになってくると、時々、お友達と近くで着替えた際、洋服が混ざって、間違えてしまうこともあります。
- 名前の記入がなく、持ち主のわからない衣類等を専用の籠に入れておきますので、定期的に、その中の点検をお願いいたします。2週間経ちましたら、速やかに処分いたしますので、ご了承ください。籠は、さくらんぼのお部屋の玄関、靴箱の上にあります。

- ひよこのお部屋(0歳児)よりお願いです。沐浴用のタオルをバックに入れ、帽子入れの横の籠に入れて下さい。全てに**名前の記入**をお願いいたします。

- 6月20日(月)はプール開きです。

さくらんぼのお部屋(1～2歳児)よりお願いです。プール開きの日から、お天気が良ければ、水着を着て、プール遊びをします。20日(月)から、プールバックの中に水着、水泳帽、フェイスタオル(スポーツタオル)を入れてお持ち下さい。**名前の記入**もお願いします。

- プールバックは、週末のお休み前は、使っていなくてもお持ち帰りしていただき、また週明け持ってきてくださいますようお願いいたします。

- 使用したプールバックは荷物掛け用フックに掛けておきますので、**忘れずにお持ち帰りください**。ぺんぎんさんは、青いフックです。使用した日は札をかけておきます。また、プールバックは**毎日使用しますので翌日もお持ちください**。

- 午睡時の掛け布団についてですが、日中、室内はとても暖かくなって参りましたので、厚手の掛け布団の方は、タオルケット又は薄手のものにお取替えをよろしくお願いいたします。

- 保育園でお貸した衣類や紙パンツは、**2～3日以内にご返却下さいますよう**お願いいたします。保育園用の衣類、紙パンツは、(保)と記入されております。ご協力よろしくお願いいたします。

- 汚れ物用の衣類籠等に、誤って他のお子様の物が入ってしまうことがあり、多々ご迷惑をおかけしてしまっていること申し訳ございません。たいへん恐縮ですが、お気づきになった際は、お早めに、担任の方へお知らせ下さいませ。お帰りの時でしたら、その場で渡していただければ担任の方で対処いたします。こちら側の間違いであるにも関わらず、いつもお洗濯をして下さいましてどうもありがとうございます。



今世界中の学校で、“注意欠陥多動性障害”と呼ばれる症状を示す子どもたちが増えています。遺伝的なものもありますが、環境によってこのような症状になってしまう後天的な場合も少なくありません。いろいろな原因が考えられますが、ひとつに「テレビ」も大きな要因があります。

じっとしてられない、人の話が聞けない、自分の要求をすぐに満足にさせてもらいたがり、少しも待つことができないなど。子どもたちが、とても神経質になり、攻撃的になるのです。テレビやビデオは、常に受身の態勢

であり、自分も体を動かして、活動に参加したいと思っても、画面に邪魔されてしまうことで、精神的重圧、欲求不満が生まれます。また、幼い子どもが、破壊的ゲームに夢中になることで、実際にいろいろな物を壊したり、罪を犯したりすることが、それほどおかしいこととは思わなくなっているようです。社会的な罪を犯すことは、最後の手段になっていて、その前に、自分たちの存在に気づいて欲しいと乱暴を働いているのです。「ぼくたち、わたしたちはここにいるんだ」と言いたくて、破壊的な行動をとるのです。

テレビやビデオの暴力的場面が有害な影響を与えることは、よく知られておりますが、必ずしも十分に知られていないのは、どんなに優しく、罪のない番組でも、見る側にとっての受動性があまりにも大きな不満を心に残すので、結果として、攻撃性を呼び覚ますことになるということです。

テレビを1日どのくらい見ているでしょうか？ぜひ画面の前に座っている時間を考えてみてくださいね。（著書 テレビを消してみませんか？ カーリン・ノイシュツ より引用）



※ 保育園の行事や生活の様子が、あゆみ保育園のホームページやブログ「あゆみっこ」で公開されております。ぜひご覧ください。また、ご都合の悪い写真や文言等ございましたらお申し出ください。削除いたします。（あゆみ保育園のホームページ URL >>>

<http://www.ayumi-hoikuen.jp/>

あゆみ保育園のメールアドレス >>> ayumi@ayumi-hoikuen.jp です。）